科目ナンバリング	U-LAS02 10014 LJ37						
授業科目名<英訳>	言学II The Science of Language Aspect of the Japanese Language II			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 前田　広幸		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

日本語の音声音韻、形態と構文について基礎的な知識を習得することを目的とする。言語類型論的観点から日本語の特徴をみるため、日本語以外の言語のデータを扱うことがある。

[到達目標]

日本語の音声音韻、形態と構文の基礎的な事項について、言語類型論をふまえた説明をおこなえること。

[授業計画と内容]

1　コーパスを使った言語分析へのアプローチ
2　自立分節音韻論によるアクセント分析
3　規則に基づく分析と制約に基づく分析
4　日本語学習者の誤用の分析から
5　否定過去表現の変遷
6　二重否定当為表現の変遷
7　語順類型からみた日本語の語順
8　４つのレベルの“格”の日本語における現れ方
9　所有傾斜と名詞句階層
１０　対格言語と能格言語
１１　ヴォイスと結合価にかかわる諸現象；受動・使役・反受動・適用
１２　テンスとテンポラリティー・アスペクトとアスペクチュアリティー
１３　種々の部門での“語”形成―後統語論的語形成・その他―
１４　まとめ・確認試験
１５　フィードバック

講義の順序と内容の予定は上の通りであるが、受講生の理解度にあわせて順序・内容を入れ換えたり一部を省略することがある。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義期間の最終日におこなう基礎的事項の確認試験（60%）と、それまでに適宜出す課題・毎回の授業への積極的参加度（40%）により評価する。

言学II(2)へ続く↓↓↓

言学II(2)

[教科書]

プリントを配付する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

講義中に次回までの課題を指示した場合は、指示に従い予習してくること。
それまでの授業で説明した事項の理解を前提に授業をすすめていくので、理解が十分でないと思われる箇所がある場合は、復習をしっかりおこなうこと。

[その他（オフィスアワー等）]

非常勤講師のためオフィスアワーはないが、質問等は、授業終了後またはＥメール（maedah@cc.nara-edu.ac.jp宛；件名に「言学」の文字列を含めること）にて受け付ける。

[主要授業科目（学部・学科名）]